

東京湾海況情報 26-6

東京湾水質調査結果（平成26年9月）
（平成26年9月19日発行）

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
〒293-0042 富津市小久保3091
TEL 0439-65-3071
E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp
千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 9/1：内湾(ふさなみ)、9/10：内房海域(ふさみ丸)
関東・東海海況速報(9/10)、東京湾口海況図(9/10)
モニタリングポスト9/1：国土交通省関東地方整備局、海上保安庁)

【 水温・塩分の状況 】

湾内の表層水温(図1)は22~26℃台で、内湾中央から北部海域では平年より2~4℃低くなっています。塩分は24~33PSU台で、内湾北西部海域では降雨による低下、内湾北東部海域では底層水の接岸による上昇がみられました。

縦断面の鉛直分布(図3)でも、北寄りの風の吹き出しによって、沖合底層水の水温、塩分が北部沿岸に及んでいました。

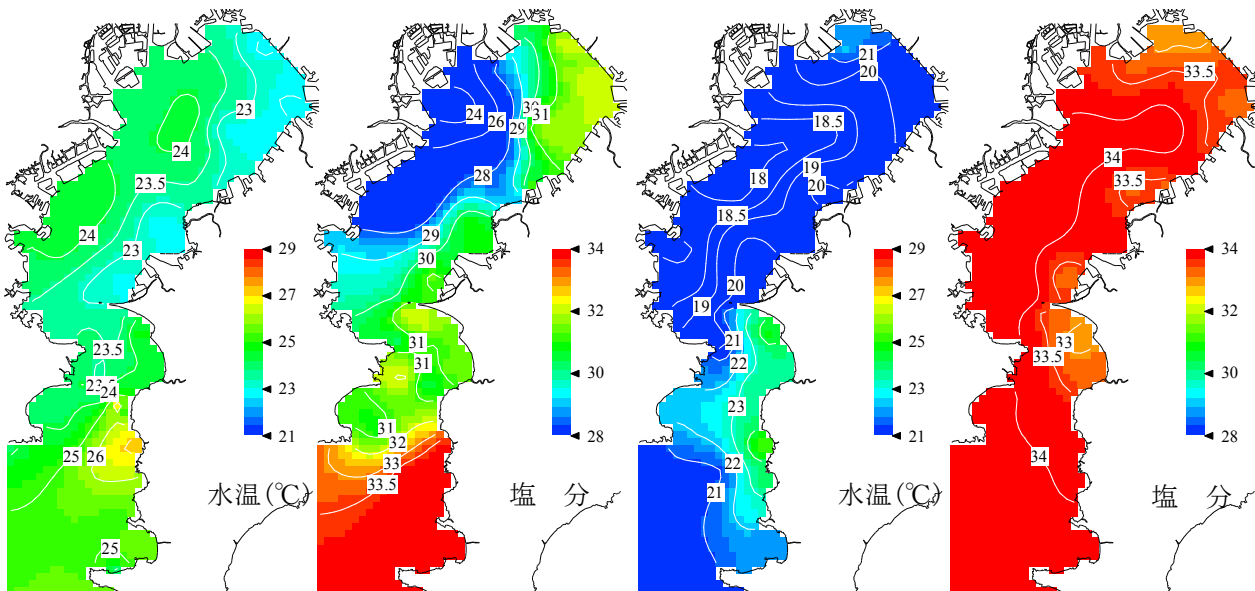


図1 水温・塩分分布(表層)

図2 水温・塩分分布(底層)

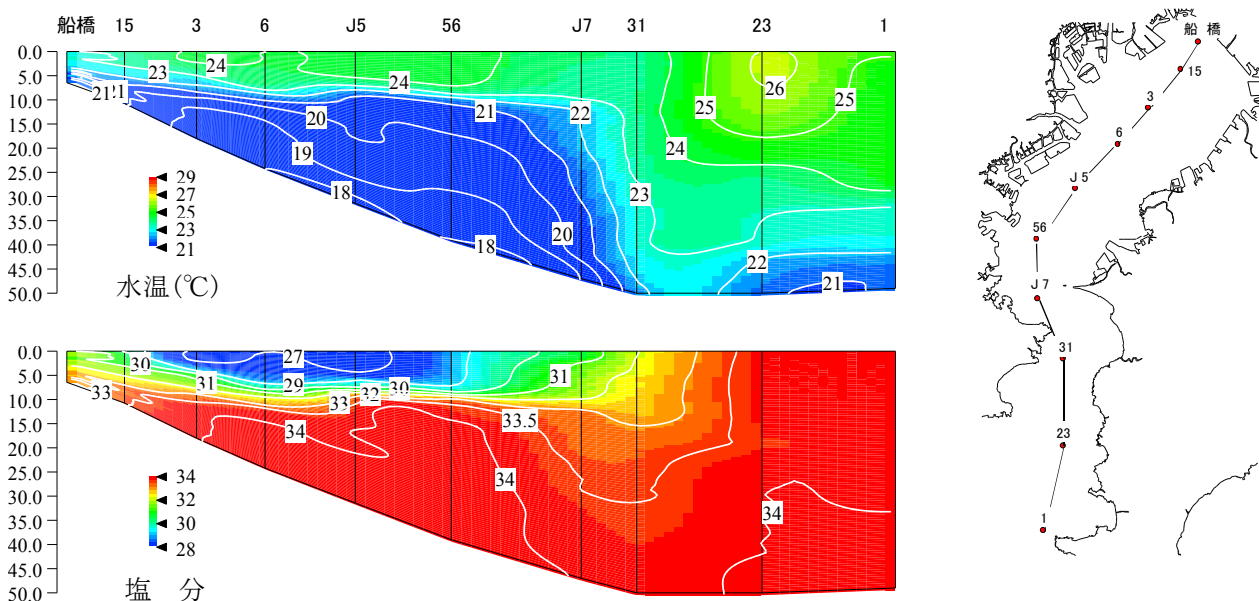


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布(上：水温、下：塩分、右：調査ライン)

【赤潮の状況】

赤潮は扇島から多摩川沖にかけての海域で発生し、pH8.5~8.6、透明度2m台(図4)で、水色も褐色を呈する状態でした。

優占種はケイ藻のシュードニッチア(*Pseudo-nitzschia* sp.)やキートケロス(*Cheatocecos* sp.)で、タラシオネマ(*Thalassionema nitzchioides*)もやや多くみられていました。保田から富浦にかけての海域ではケイ藻類がみられる程度でした。

これらはいずれも魚貝類に有害な種類ではありません。

※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。

色	: オリーブ~褐色
酸素飽和度	: 150%以上
透明度	: 1.5m以下
pH	: 8.5以上
クロロフィルa	: 50 μ g/L以上

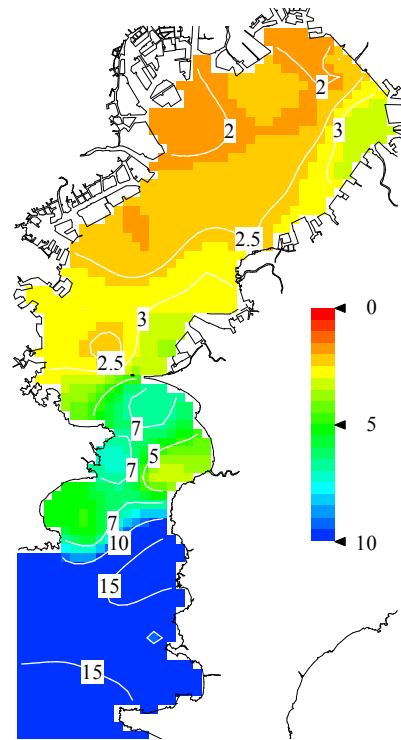


図4 透明度の分布(m)

【貧酸素水塊の状況】

内湾底層部の溶存酸素量(図5, 6)は内湾北部海域で低下し、1ml/L以下の強い貧酸素水塊が北西部海域を中心に広く分布し、8月27日から北東部海域で青潮が発生しました。

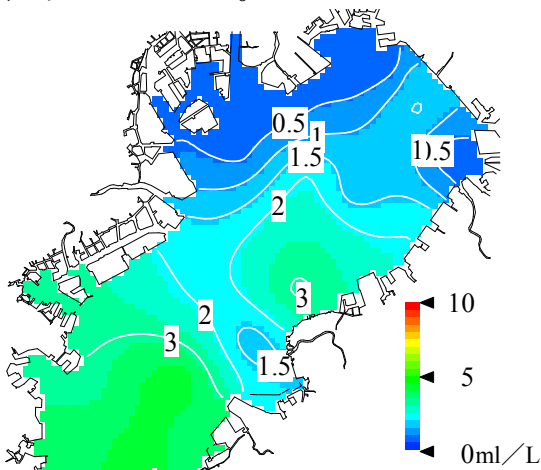


図5 底層部の溶存酸素量の分布(内湾)

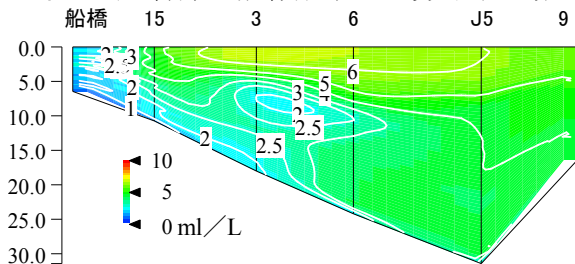


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L(酸素飽和度50%)以下を貧酸素水塊としています。

【栄養塩の状況】

湾内の表層栄養塩(図7)は溶存無機態窒素(DIN)、リン酸態リン($\text{PO}_4\text{-P}$)ともほぼ全域で平年並みからやや多めになっていました。

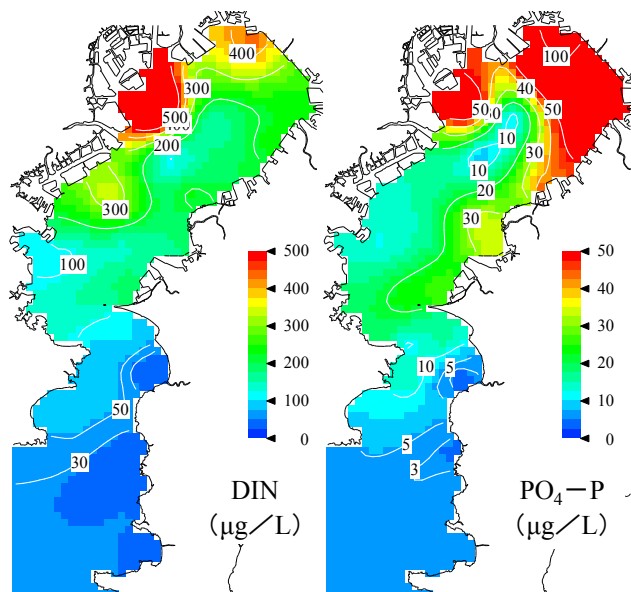


図7 栄養塩濃度の分布(表層)

【黒潮の状況】

黒潮はN型基調で推移し、その流軸は10日現在御蔵島を通過した後、房総半島南東岸を離岸しながら東北東方向へ流れています(図8)。これに伴い、東京湾口に沖合水の流入がみられています。

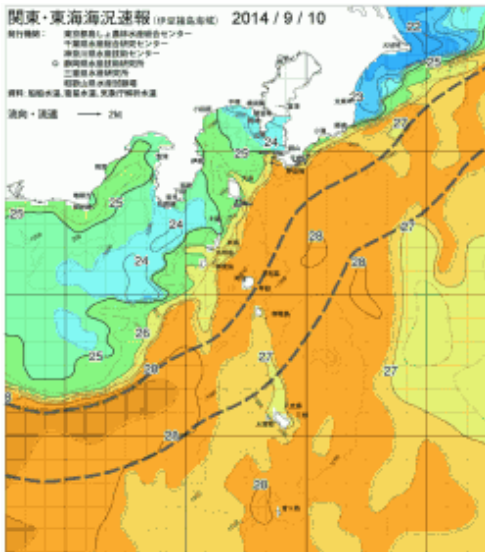
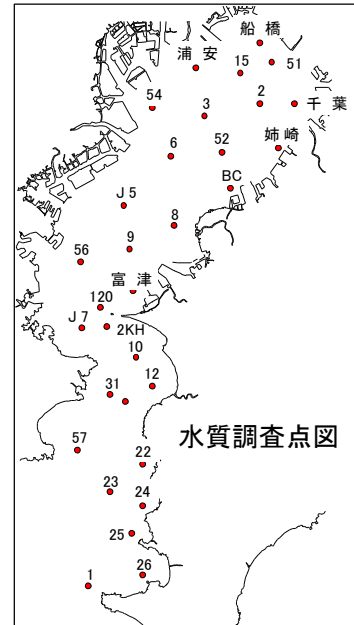


図8 黒潮の動き (平成26年 9月10日)



水質調査点図

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)
(): 最近10年間の平均値 (2004~2013年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (µg/L)	溶存無機態窒素 (µg/L)	リン酸態リン (µg/L)	クロロフィルa (µg/L)
内湾	船橋	22.6 (26.6)	31.85 (26.82)	1.8 (1.5)	7.8 (8.3)	0.3 (1.8)	414 (72)	436 (313)	116 (27)
	st. 15	23.4 (26.8)	29.97 (25.30)	2.2 (1.3)	8.1 (8.5)	0.7 (0.6)	214 (40)	326 (338)	79 (11)
	st. 3	24.1 (26.7)	26.55 (26.47)	2.1 (1.9)	8.6 (8.5)	1.9 (0.4)	18 (28)	195 (123)	8 (6)
	st. 6	24.0 (26.4)	27.02 (24.78)	2.3 (1.8)	8.6 (8.4)	2.0 (0.8)	24 (46)	126 (353)	8 (19)
	st. 9	23.4 (25.8)	29.14 (27.65)	2.9 (2.1)	8.4 (8.4)	3.8 (3.1)	21 (39)	127 (247)	17 (12)
	st. BC (盤洲Cブイ)	22.8 (26.9)	30.94 (28.53)	2.8 (1.8)	8.2 (8.4)	2.7 (2.0)	15 (23)	185 (122)	45 (13)
	st. 8 (盤洲A南)	22.6 (25.8)	30.65 (29.08)	3.0 (2.2)	8.3 (8.3)	1.3 (2.1)	21 (29)	165 (177)	34 (15)
	富津	22.6 (25.3)	31.18 (29.07)	3.8 (2.6)	8.2 (8.3)	3.5 (2.9)	41 (40)	169 (132)	25 (6)
内房海域	st. 2KH (第2海ほ下)	23.3 (25.0)	31.85 (31.12)	6.5 (4.9)	8.3 (8.2)		44 (42)	106 (95)	18 (17)
	st. 31	23.5 (24.9)	32.04 (31.52)	7.5 (6.2)	8.3 (8.3)		18 (31)	74 (69)	12 (13)
	st. 23	26.2 (25.3)	33.78 (32.98)	17.0 (12.4)	8.2 (8.3)		5 (22)	16 (29)	3 (2)
	st. 1	25.1 (25.5)	33.86 (33.58)	16.0 (15.6)	8.2 (8.2)		7 (20)	29 (26)	4 (2)
	st. 10 (下洲沖)	23.7 (24.9)	31.04 (31.75)	7.0 (5.2)	8.3 (8.2)		21 (28)	76 (55)	13 (11)
	st. 12 (湊沖)	24.0 (25.2)	31.19 (31.89)	3.8 (5.5)	8.3 (8.3)		3 (32)	4 (48)	2 (7)
	st. 22 (保田沖)	27.2 (25.4)	33.80 (33.72)	19.0 (13.4)	8.2 (8.2)		3 (24)	7 (30)	2 (1)
	st. 24 (富山沖)	25.9 (25.5)	33.74 (33.53)	13.0 (13.3)	8.2 (8.2)		4 (22)	23 (28)	4 (1)
	st. 26 (館山湾内)	25.4 (25.5)	33.82 (33.52)	14.5 (15.7)	8.2 (8.2)		4 (22)	24 (28)	4 (1)

分析中

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。